



地球温暖化は大きな環境問題の一つです。2015年に採択されたパリ協定では、産業

太陽光の力を体感 地球温暖化について考えるきっかけに



革命以前に比べて世界の平均気温の上昇を2度より十分低く保ち、1・5度に抑える努力をするという目標が掲げられ、世界規模で取り組みが進められています。

脱炭素の取り組みの1つとして、再生可能エネルギーへの転換が挙げられます。再生可能エネルギーの中でも、太陽光や風力などの自然エネルギーは、近年より身近になってきている一方、自然エネルギーにどのくらいの力があるのか、体感する機会はなかなかありません。

そこで、当協会では自然エネルギーを体感する教材の一つとして、ソーラークーラー「かるぴか」の貸し出しを行っています。本教材は、重さ約3kg、パラボラ直径80cmあり、晴天時の火力はガスコンロの弱火程度です。

活用事例の紹介

8月25日に安東公民館で開催された、親子を対象とした環境講座



ベーコンが焼ける様子を観察する参加者(上)、かるぴかで加熱調理した卵(左)



広島県

『もったいない』をいっしょに 減らそう食ロス広島アクション

広島県では、減らそう食ロス広島アクションを展開しています。

まだ食べられる食品を捨ててしまうなんて『もったいない』。「食品ロス」を減らすためには、一人ひとりの「アクション(行動)」が大切です。お家やお店で、みなさんにできることから始めてみませんか。

食品ロスを減らす3つのアクション

使いキリス：食品を使い切る工夫をしましょう。

手前ドリス：すぐ食べるなら、期限の迫った手前の商品を選びましょう。

食べキリス：お店では食べきれぬ量を注文し、残さないようにしましょう。



『減らそう食ロスキャンペーン』に参加して、電子マネーをGET!!

《第1弾》小売店とお家で Action!
10月30日～12月31日

〇手前どりキャンペーン

商品を手前どりして、棚に設置されているスイングポップもしくは掲出されているポスターから応募しよう!

〇使い切りレシピキャンペーン

家で余りがちな食材や、野菜の皮や芯などを上手に活用したレシピを募集!

《第2段》飲食店で Action!

12月2日～1月31日

〇食べ切りキャンペーン

注文したメニューを食べきり、店

舗のポップからサイトの応募欄に記入して応募!

～事業者の方へ～

広島県では、食品ロス削減キャンペーンを実施します。内容にご賛同いただき、参加協力をお願いします。

キャンペーンについての詳細は、二次元コードより広島県ホームページをご覧ください。か、減らそう食ロス広島アクション事務局までお問い合わせください。メール：info@hiroshimaken-food-waste-loss.com



(広島県環境県民局循環型社会課)

環保協の 環境生活 センター

④微量分析課

P F A S について聞いたことがありますか?

身近な環境汚染について知ろう

最近、ニュースで見かける機会が増えたPFASという言葉をご存知でしょうか。炭素とフッ素から構成される化合物で通称PFAS(ペーファス)と呼ばれており、数千種類もあると言われています。水や油をはじき熱に強いという特性から、幅広い用途で使用されてきましたが、現在は人体への毒性が明らかとなってきた

め、国際的な規制が始まっています。日本国内においても、環境水などからPFASが検出された事例があり、現在も多くの自治体の実態の把握のための調査を進めているところです。

ついでには、環境省がPFOSおよびPFOA(PFASの一種)を水質の要監視項目に位置付け、指針値(50ナノグラム/リットル)を設定しています。水道水についても、厚生労働省がPFOSおよびPFOAを水質管理目標設定項目に位置づけ、暫定目標値として合計値50ナノグラム/リットルを設定しています。

この目標値は「体重

50kgの人が水を毎日2リットル飲んだとしても、この濃度以下なら健康に悪影響が生じないと考えられる水準」とされていますが、PFASについては健康影響など情報収集段階のため、国内外の最新の科学的な知見をもとに見



直しの検討も進められています。

当協会では、環境中や浄水中のPFASの調査や測定を行うっており、高度な分析技術が要求される微量分析において、これまでに培った技術と知識に新しい技術を取り入れながら、化学物質による環境リスクの少ない安全で安心な社会づくりに貢献していきます。

(微量分析課 三井裕美)